

乙津豊彦市政報告

いま福生市では

市で行われている事業のいくつかを紹介します。

◆防災食育センター整備事業

昭島市との行政界の変更や地番整備などの法的手続きも完了し、既に工事が始まっています。東京オリンピックを控え施行業者の選定に苦慮したようでしたが、無事契約を結ぶことができました。学校の改良等の費用を含める総事業費が40億円を超えようとする大事業になります。

4月14日の夜、熊本県と大分県で起きた熊本地震は記憶に新しいと思いますが、このような災害



防災食育センター建設現場

が福生で発生したならば、この防災食育センターの果たす役割が重要となると思われます。平成29年

9月に稼働する予定です。

◆自由広場貸付事業

競争入札の結果、昨年11月に大和ハウス工業(株)が落札し、事業が開始されました。

建設される建物は全部で賃貸住宅7棟、富士見通り側、北側の線路側にコンビニエンスストア1棟、という計画で、最終的に90世帯が入居できます。今年5月末に北側3棟とコンビニが完成し、平成29年の春先に残りの4棟が完成します。

工事に先立ち昨年11月19日には地元説明会も開催されました。説明会における議事要約が福生市のホームページで公開されていますが、ファミリー世帯向け住宅の供給促進のための事業であること、自衛隊員用宿舎の確保に



コンビニと3階建ての建物

ついでの協力依頼があったこと、基本的に一般の方も入居されること、本事業に關し福生市の

負担はないこと、借地料を含め年間2500万円以上の歳入が見込めることなどが理解できます。写真は近影できれいな街並みが形成されています。

◆福生消防署建て替え事業

現在の福生消防署庁舎は建築から44年が経過し老朽化が著しく、また敷地はプレハブ庁舎の増築により訓練スペースが確保できない状況です。東京都は現行よりも敷地面積を拡大(2000㎡から2500㎡)した建て替え計画を立てました。

東京都との消防事務の委託に關する規約では、建物は東京都の負担、土地は市町村が無償で提供することになっています。市では様々な提案を行いましたがいずれも基準を満たすものではありませんでした。



現在の福生消防署

市としては消防署を市内に確保するため、隣接する扶桑会館を移転し、その

敷地を無償貸し付けすることにしました。なお、扶桑会館については福生駅西口駐車場を解体し、そこに新たな扶桑会館を建築します。なお、この建物には商工会も入る予定です。

◆福生の学校教育

平成25年7月に「ふっさ子未来会議」が設置され、魅力ある学校づくりのための「6つの未来提言」を取りまとめました。小中学生をお持ちの方には「ふっさ子スタンダード」という提言はおなじみでしょう。

平成27年度はICT教育、英語教育、学力向上策などの計画が行われました。これまでの成果として、学力は都の平均に近づいてきましたし、いじめ防止も功を奏しています。不登校児童・生徒も減少しました。これらの施策に対して教育委員会は自信をもって取り組んでいる様子が伺えます。

平成28年度から福生第四小学校がコミュニティスクールに指定されました。

(次ページに続く)